

ニチアス オメガフロア[®]





TOMBO™ No.6473

「ニチアス オメガフロア®」は、
多くの施工実績と優れた性能を備えた
安心・安全なフリーアクセスフロアです。

1. 多くの施工実績を誇る ニチアス オメガフロア

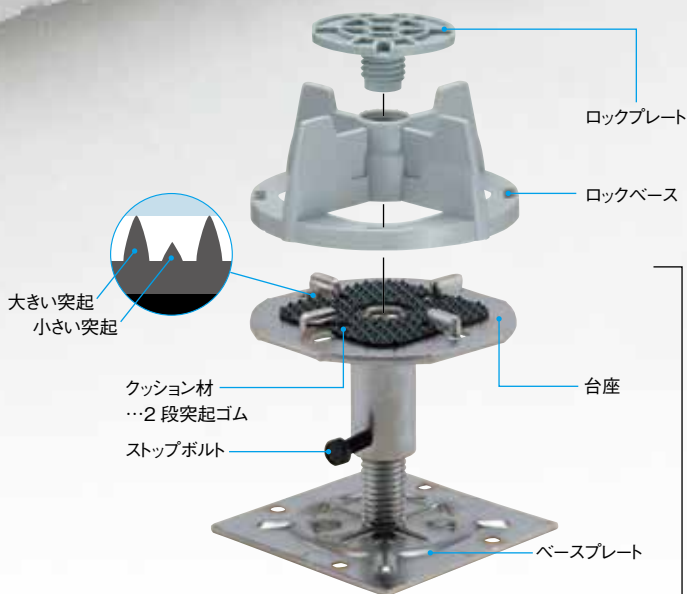
1990年の発売以来多くの施工実績を達成。
施工性・経済性に優れたフリーアクセスフロア
として大型再開発ビルなど多くの実績を誇って
います。

2. 鉄筋とラスで補強した、 高強度パネル

コンクリートだけでは割れやすい性質を、独自の
鉄筋構造とラスで補強し、丈夫で高強度のコン
クリートパネルを実現。床スラブと同等の安定し
た歩行感が得られます。



パネル



支持脚

3. ガタツキ音のない 優れた歩行感

パネルロックシステムには、フリーアクセスフロアの欠点であるガタツキ音を吸収し、ぎしみや空洞音を軽減する2段突起ゴムを採用。オフィスワーカーの足への負担を抑え、自然でやさしい歩行感を得られるのが特長です。



4. コストパフォーマンスを誇る フリーアクセスフロア

優れた諸性能を低コストで実現。経済性を考えたオフィス環境づくりに貢献しています。

パネル

基材はコンクリートに鉄筋とラスで補強。ご希望に応じて「ORタイプ」と、配線用切り欠きのある「PKCタイプ」で組み合わせることができます。

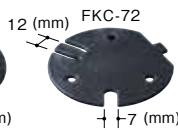
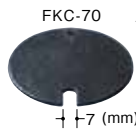
■標準パネル ^{ゼロアール} ORタイプ



■標準パネル PKCタイプ



PKCタイプ
フサギ板



配線取り出し例

パネル仕様

種類	タイプ	許容集中荷重 (N)	サイズ (mm)	厚さ (mm)	システム重量 (kg/m ²) 注1	パネル重量 (kg/枚)
M300A	^{ゼロアール} OR	3,000	(仕上がり500mm モジュール) 497.5×497.5	角部: 31.5 (辺中央部: 30) 注3	48	11.5
	PKC					
HG 注2	^{ゼロアール} OR	5,000	(仕上がり500mm モジュール) 497.5×497.5	角部: 33 (辺中央部: 31.5) 注3	54	13.0
	PKC					

注1: 支柱の高さ100mmの場合。厚さ、システム重量は表面材を含みません。

注2: オメガフロアHGは受注生産品です。数量、納期等制限が生じる事がありますので、採用をご検討の際は必ずご連絡ください。

注3: 辺中央部の厚さは目安です。

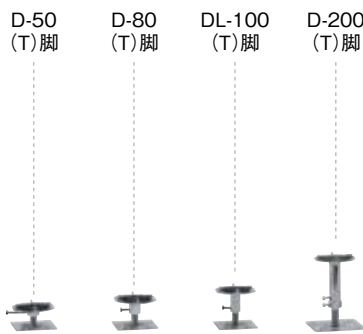
注4: 表面に色ムラ、小さな気泡などが発生する場合がありますが、製品性能上は問題ありません。

支持脚

仕上がり高さ60 ~ 1,000mmまで充実のラインアップ。

※仕上がり高さ300 ~ 1,000mmは、受注生産品です。仕様、詳細については別途お問い合わせください。

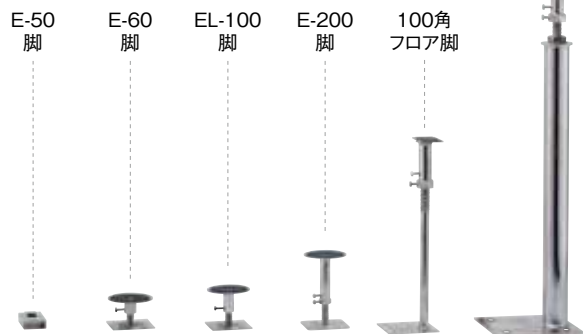
【標準脚】



パイプ脚



【ボーダー脚】



【支持脚の種類】



ロックタイプ標準脚



ボーダー脚

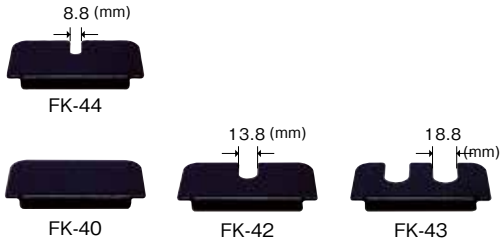
支持脚の種類 仕上がり高さ	標準脚	ボーダー脚
60mm用	D-50(T)脚	E-50脚
80mm用	D-80(T)脚	E-80脚
100mm用	DL-100(T)脚	EL-100脚
125mm用	DL-125(T)脚	EL-120脚
150mm用	DL-150(T)脚	E-150脚
200mm用	D-200(T)脚	E-200脚
300mm用	150角プレスフロア脚	100角フロア脚
~ 1,000mm用	パイプ脚	パイプ脚

オプションパネル

■オプションパネル PKRタイプ(受注生産品)

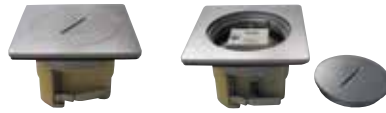


PKRタイプ
フサギ板



※オプションパネルの数量、納期についてはお問い合わせください。

アップコンセント



メーカー名：(株)寺田電機製作所(NAS70000)(PKC対応)

※PKR対応品については、電設資材メーカーにお問い合わせください。

※大型の情報コンセント・ボックス設置は、パーティクルボード加工で対応できる可能性があります。仕様・詳細については、別途お問い合わせ下さい。

セキュリティ対応・ウイスカ対応

※受注生産品です。仕様、詳細については別途お問い合わせください。

【セキュリティシステム】

特殊ねじによってパネルをロックするシステムです。通常のドライバー、六角レンチでは開閉できないため、セキュリティー性を高めます。

【ウイスカ対応】

亜鉛ウイスカ^{注1}対策として一般的なニッケルメッキ処理をした支持脚です。

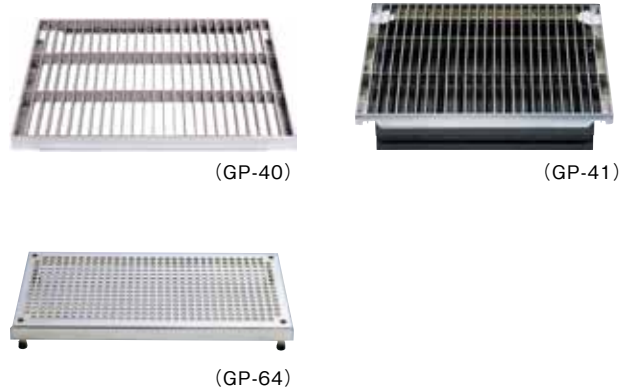
注1：亜鉛ウイスカ／電気亜鉛めっき部から発生する導電性を有するヒゲ状結晶で、コンピューター機器に悪影響を及ぼすと言われています。



ガラリ

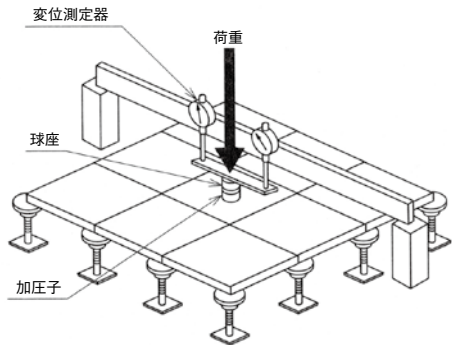
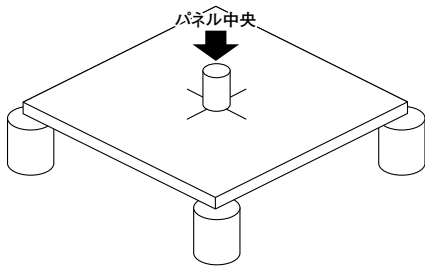
※受注生産品です。仕様、詳細については別途お問い合わせください。

オフィスの用途に応じて素材・寸法・開口率など豊富なバリエーションのなかから選ぶことができ、機能的なオフィスを演出します。



品名	寸法 (mm)	開口率	材質	備考
GP-40	500角	75%	スチール	
GP-41	500角	0～62%	スチール	ダンパー付き
GP-64	500×250	37%	スチール	ボルト脚仕様

集中荷重試験



(「JIS A 1450-2009」より)

静荷重試験支持台で4点支持し、φ50荷重子を用いて荷重試験機にて荷重をかけます。

静荷重試験

種類	載荷点	最大荷重	変形量
M300A	パネル中央	9,000N以上	3000N時2mm以下
HG		10,000N以上	5000N時2mm以下

ニチアス規格値

支持脚で4点支持し、φ50荷重子を用いて荷重試験機にて荷重をかけます。

静荷重試験(試験方法: JIS A 1450-2009)

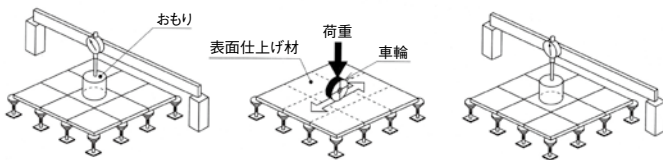
種類	所定荷重	載荷点	所定荷重の時の変形量	残留変形量
M300A	3000N	最弱部 ^{注1}	5mm以下	3mm以下
HG	5000N			

ニチアス規格値

注1: 最弱部とは所定荷重を載荷した時に変形が最も大きい部位と残留変形が最も大きい部位の2箇所(最弱部が同じ部位の場合もある)

ローリングロード試験

零点設定(負荷前) → 負荷 → 変形測定(負荷後)



(「JIS A 1450-2009」より)

ウレタン被覆キャスター(直径150mm、幅40mm、硬さ85HS以上)に所定荷重を負荷させて走らせます。

ローリングロード試験(試験方法: JIS A 1450-2009)

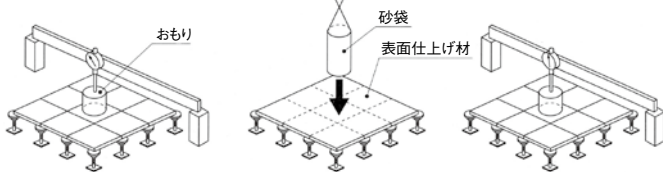
種類	所定荷重	負荷位置	目視による損傷の有無	残留変形量
M300A	1000N	最弱部 ^{注1}	なし	3mm以下
HG				

注1: 最弱部とはローリングロードによる変形が最も大きい部位

ニチアス規格値

衝撃試験

零点設定(加撃前) → 加撃 → 変形測定(加撃後)



(「JIS A 1450-2009」より)

30kg砂袋(底面φ220)を250mmの高さから自由落下させます。

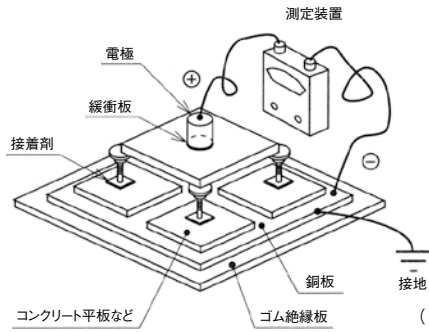
衝撃試験(試験方法: JIS A 1450-2009)

種類	加撃体	加撃高さ	加撃点	目視による損傷の有無	残留変形量
M300A	質量30kgの砂袋	250mm	最弱部 ^{注1}	なし	3mm以下
HG					

注1: 最弱部とは衝撃による変形が最も大きい部位

ニチアス規格値

漏えい抵抗試験



(「JIS A 1450-2009」より)

パネル上面とアースの抵抗値を測定します。(測定条件 電圧：500V負荷、温度：20±5℃、湿度：30±10% RH)

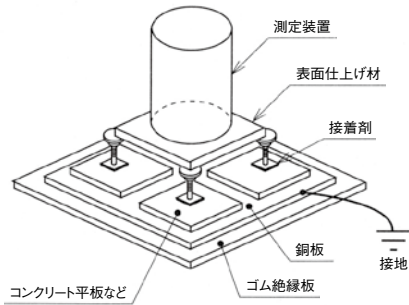
漏えい抵抗試験 (試験方法：JIS A 1450-2009)

種類	パネル表面	漏えい抵抗値(Ω)
M300A	表面仕上げ材なし	1×10 ⁶ 以上
HG		

ニチアス規格値

帯電性試験

JIS A 1455 に規定する測定装置を使用し、パネル上面とアースの最大帯電電位と半減時間を測定します。U値の計算はJIS A 1455 に規定する計算式を用います。



(「JIS A 1450-2009」より)

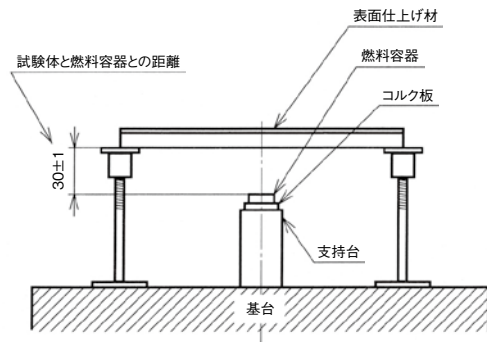
帯電性試験 (試験方法：JIS A 1450-2009)

種類	パネル表面	U値
M300A	表面仕上げ材なし	0.6以上
HG		

ニチアス規格値

燃焼試験

パネル下部で燃焼させ、燃料が燃え尽きたときからパネルの炎が消えるまでの時間を測定します。



(「JIS A 1450-2009」より)

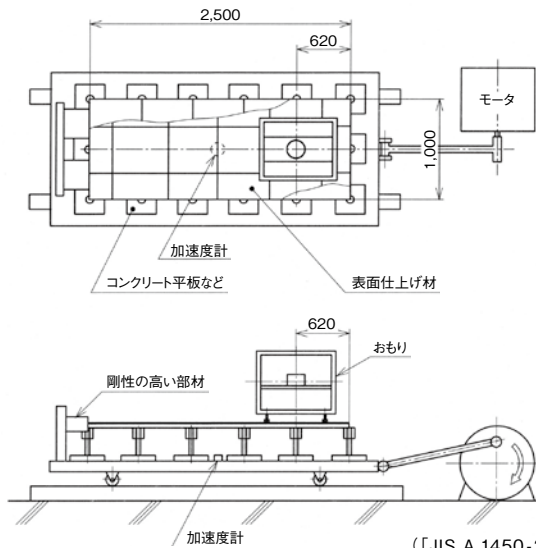
燃焼試験 (試験方法：JIS A 1450-2009)

種類	残炎時間
M300A	0秒
HG	

ニチアス規格値

振動試験

試験体上部に350kgのおもりを乗せて、2Hz、3波の正弦波で加振します。



(「JIS A 1450-2009」より)

振動試験 (試験方法：JIS A 1450-2009)

種類	おもりの質量	評価
M300A	200kg	パネルの脱落がないこと
HG	350kg	

*積載荷重により支持脚の仕様が異なります。ニチアス規格値 床高さ125mm(タイルカーペット高さ)時の試験結果を示します。

所定のおもりの質量	適用例	下地床の強度
150kg	軽やかな什器の設置を想定する場合 (一般事務所など)	3000N/m ²
200kg	一般的な書棚および什器の設置を想定する場合 (一般事務所など)	
350kg	大きな書棚、小規模サーバーなどの機器を含む重量物の設置を想定する場合 (ヘビーデューティーゾーン)	5000N/m ²

出典：フリーアクセスフロア工業会「フリーアクセスフロアの性能評価」

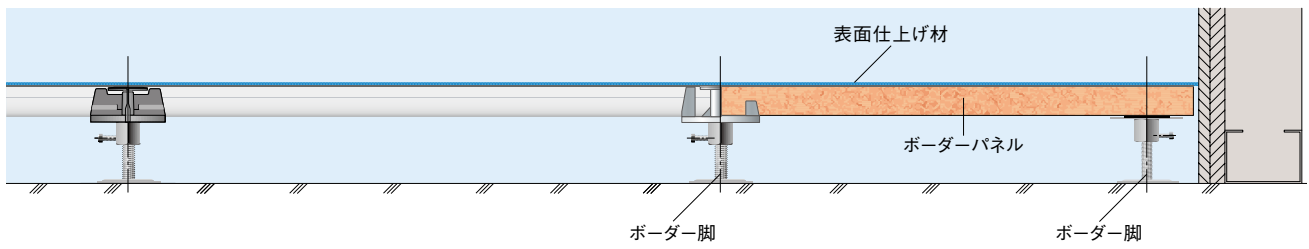
*所定荷重と下地床の強度は関連するものではありませんが、現行の使用状況を考慮し、参考として掲載しています。

認定について

●(一社)公共建築協会(3000N:M300A)(評価第971-25019008号)

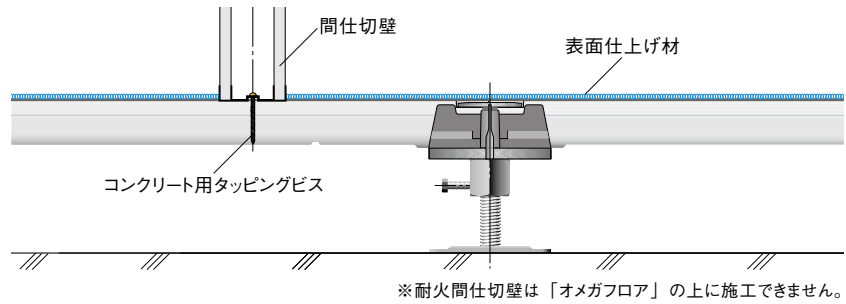
「ニチアス オメガフロア®」は各種評価を受けておりますが、支持脚などの仕様により一部制約条件がありますので、詳細については別途お問い合わせください。

断面図

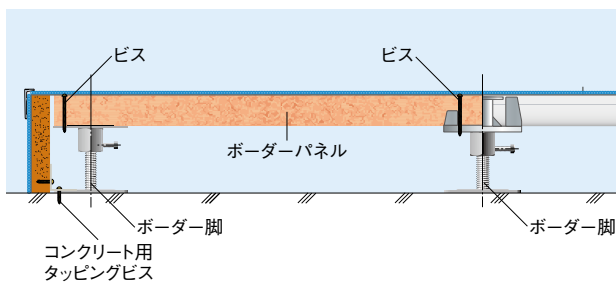


間仕切壁(別途工事)

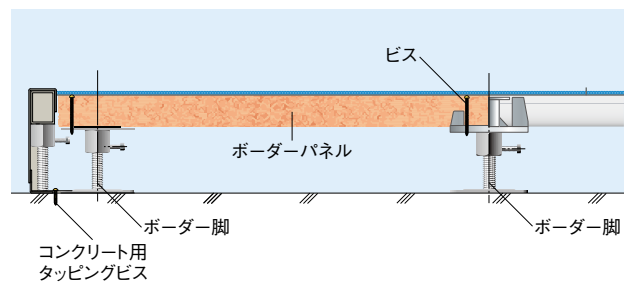
「オメガフロア」に下穴をあけてビス止めすることができます。



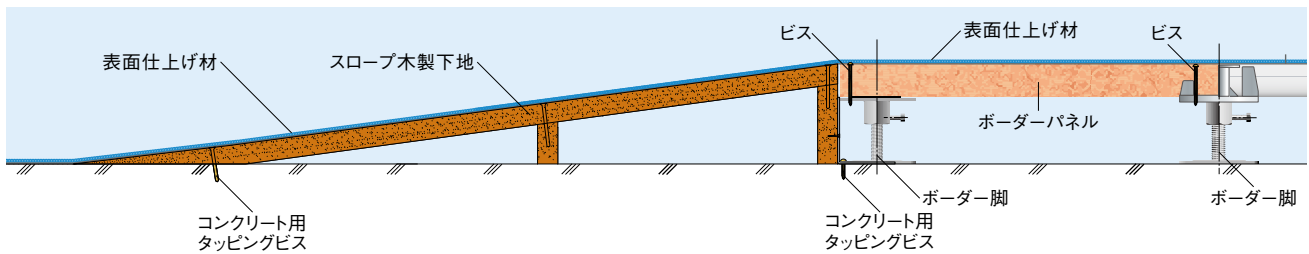
上がりカマチ(木製下地)



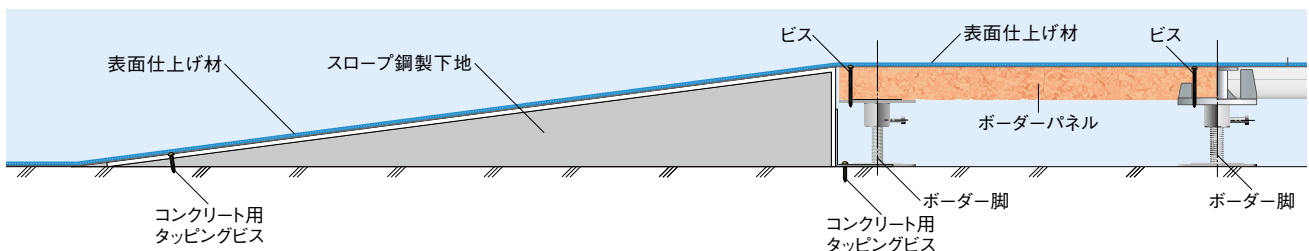
上がりカマチ(SUS製)



スロープ(木製下地)



スロープ(鋼製下地)



ボーダー部の施工

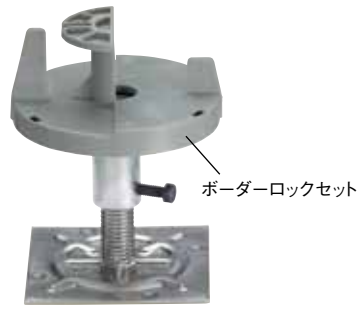
パーティクルボードを使用する場合

パーティクルボードをカットして設置します。

*支持脚にボーダーロックセットを取り付けます。

*壁との取り合いは2～4mm程度隙間をあけて施工します。

*入り口まわり、通路部などの人や台車が通行する部分は、パネル4隅をビスまたはロック部材にて固定します。



ボーダーロックセット 1/2

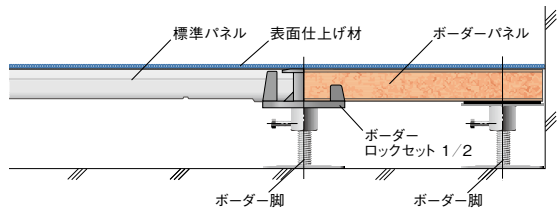


(入隅用)
ボーダーロックセット 1/4



(出隅用)
ボーダーロックセット 3/4

施工例1



スロープ・カマチ

*受注生産品です。



上がりカマチ(木製下地)



上がりカマチ(SUS製)

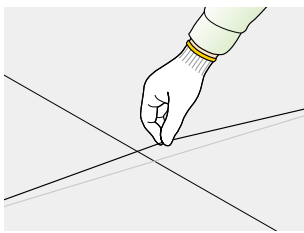


スロープ(木製下地、鋼製下地)



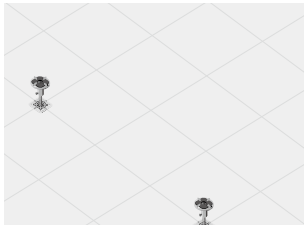
スロープ(木製下地、鋼製下地)

施工手順



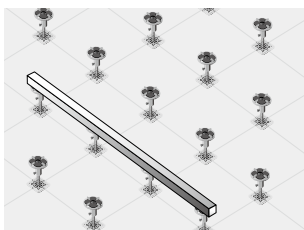
STEP1

建築基準墨および施工図に基づいて、床面に割付墨を打ちます。



STEP2

レベラーなどにより基準となる支持脚の高さを調整します。



STEP3

長棒などを用いて支持脚の高さを基準の位置に調整し、ストップボルトを固定します。

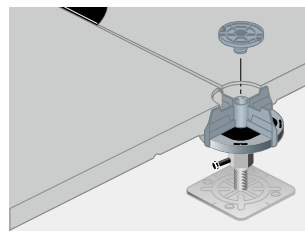


STEP4

ロックベースを取り付けた支持脚のベースプレート底面に接着剤を塗布し、割付墨に基づいて支持脚を設置します。

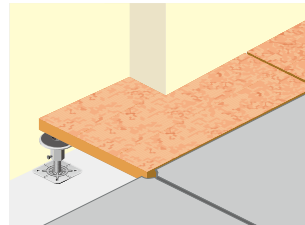
※接着剤は当社指定の接着剤をご使用ください。

※コンクリートスラブに下地塗料を塗装する場合は、下地塗料施工時のスラブ状態・支持脚接着までの養生期間などを下地塗料メーカーにご確認ください。



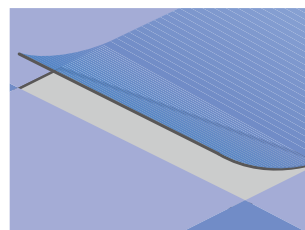
STEP5

レイアウトに応じて支持脚の接着後すぐにORタイプまたはPKCタイプを敷き込み、ロックプレートで締めつけます。



STEP6

ボーダーパネルなど取合部を施工します。

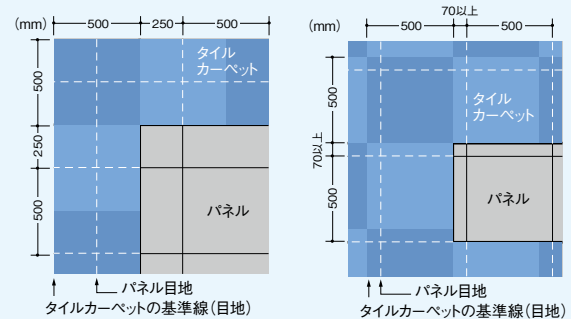


STEP7

タイルカーペットなどを施工します。(表面仕上げ材はパネル施工後、速やかに敷いてください。)

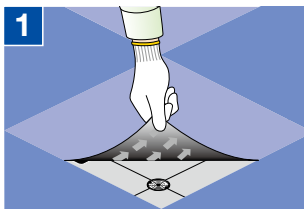
※当社推奨のカーペット糊(ピールアップ型接着剤)の塗布量は30～60g/m²になります。詳細は各メーカーの施工仕様に従ってください。また、タイルカーペット施工時のカーペット糊の塗り過ぎは、粘性が強すぎてタイルカーペットを傷つける場合がありますのでご注意ください。

【タイルカーペットの割り付け例】



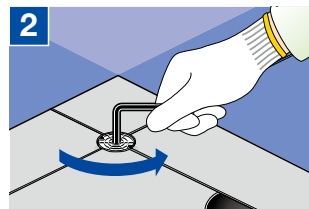
※置敷きタイルなどはパネルの目地などが浮き出る場合がありますので、ご注意ください。

メンテナンス

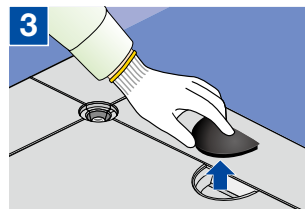


表面仕上げ材(タイルカーペットなど)の角を指先でつまみ上げて、開閉したいパネルにかかる4枚の表面仕上げ材を取り除いてください。

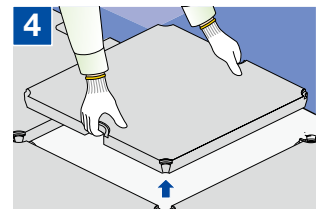
※表面仕上げ材には方向があるので戻す時のために位置、方向を記録しておいてください。
※パネルを持つ際は手袋を着用してください。



六角レンチでロックプレートを取り外してください。



フサギ板を取り外してください。



両手でパネルを持ってまっすぐ上に持ち上げてください。

※戻す時のためにパネルの位置、方向を記録しておいてください。
※パネルを持つ際は手袋を着用してください。

注意事項

- ⚠ 警告**
- ❌ 重量物の落下や、過度の衝撃を加えないでください。パネルが破損し、脱落する危険があります。
 - ❌ パネルや支持脚を勝手に加工しないでください。強度が低下し、パネルが破損したり、脱落する恐れがあります。
 - ⚠ 機器の搬入や移動、設置を行う場合は所定の養生を施し、静かに実施してください。過度の荷重や衝撃によりパネルが破損する恐れがあります。
 - ⚠ 機器を設置する際は、設置面積がφ50mmより大きく、かつパネル1枚にかかる荷重が許容集中荷重以下となるようにしてください。
 - ⚠ 配線等でパネルを外したまま放置しないでください。第三者が立ち入り思わぬ怪我をする恐れがあります。区画表示をするなどして安全処置をしてください。
- ⚠ 注意**
- ⚠ フサギ板が無い状態でフロアパネルを使用しないでください。穴に足が入るなど思わぬ怪我をする恐れがあります。
 - ⚠ パネルや支持脚を取り扱う際は、切創防止のため、手袋を着用してください。
 - ⚠ パネルの敷設の際は、パネル間に手をはさまれないよう十分注意してください。
 - ⚠ パネルの着脱時に使用するパネルリフターで保持したまま、持ち運ばないでください。落下して思わぬ怪我をする可能性があります。
 - ⚠ 弊社に確認した上でパネルの加工を行う場合やパーティクルボードを切断の際は、保護メガネ、保護手袋、防塵マスクを着用し、取り扱い後はうがい手洗いを励行してください。また、電動工具を使用する場合は、局所排気装置、集じん装置を設置してください。作業衣等に付着した場合は粉じんの飛散に留意して取り除いてください。

一般注意事項

設計上の注意

- フリーアクセスフロア以外の用途に使用しないでください。
- 「パネルの欠け、削れ」「経年によるシミ、汚れ」「つまずき、挫きの恐れ」があるので素地のまま使用しないでください。
- パネル目地が目透かしの場合は、長尺シートで仕上げると目地が浮き出る恐れがあります。長尺シートは使用しないでください。
- パネル目地が目透かしの場合は、軟質置敷き塩ビタイルで仕上げると目地が浮き出る恐れがあります。
- パネル施工後、長期間部屋を使用しない場合は、パネルが結露する場合があります。定期的に室内や床下の換気を行ってください。
- パーティクルボード施工後、長期間部屋を使用しない場合は結露してボードが膨れたり、霉が発生する場合がありますので定期的に室内や床下の換気を行ってください。
- 表面が乾燥収縮する可能性があるため、表面仕上げ材を施工しない状態で、6ヶ月以上放置しないでください。
- 重量用移動棚や輪転機のような繰り返し荷重や振動がかかる機器は、スラブ上の架台などに設置し、パネルと縁を切ってください。
- 扉をパネル上に設置する場合は、パネルがたわむことにより開閉操作に影響する恐れがありますので、必ず補強脚による補強を行ってください。
- パーティションをパネル上に設置する場合、パネルがたわみ支障が生じる恐れがありますので、補強の必要性等について弊社にご相談ください。

施工時の注意

- カタログに記載の内容に従って施工してください。
- 配線時のパネル着脱を考慮し、カーベットの厚さは70mm以上ずらし貼りしてください。
- タイルカーベットの敷設した際は、カーベット裏面ゴムの可塑剤とパネルに含まれるアルカリ水が反応して異臭が発生する場合があります。カーベットの施工後は十分な換気を行ってください。
- タイルカーベット施工の際のカーベット糊の量は30～60g/㎡を目安にしてください。糊を塗りすぎるとパネルの目地に入り込み、開閉が困難になったりパネルの擦れ音が発生する可能性があります。また、着脱の際にカーベットの傷める場合があります。
- パネルや支持脚、副資材を保管する場合は、水が掛からない場所に置いてください。水に触れると錆が発生する場合があります。
- 重量物や、工事などの台車で運搬する場合は、過大な局所荷重がかからないよう、通過する経路に右表に示す基準で木質板などによる養生を行ってください。

重量物	養生方法
300kg以下	2mm程度のベニヤ板かビニールシート養生
300kgを超え500kg以下	9mm木質材養生
500kgを超え1000kg以下	21mm木質材養生

- 傷がつく場合があるので、パネル同士を引きずらないでください。
- 通路などの動線部や出入り口のボーダーパネルはビス固定してください。
- パネルがたつく恐れがありますので、支持脚のストップボルトの固定は確実に行ってください。
- 壁際のボーダーパネルは壁と競り合わないよう、隙間を2mm程度確保してください。廊下などの通路部では、ビス留めやバックアップ材の設置など「ずれ防止措置」をしてください。

重量物の機器搬入および設置上の注意

- 重量物を移動、運搬する場合は、過大な局所荷重がかからないよう、通過する経路に上表に示す木質板などによる養生を行ってください。
- 転倒する可能性のある機器は、スラブまたは耐力のある壁に固定して、パネルや支持脚への固定はしないでください。
- 1枚のパネルに荷重が集中する場合、パネル上に鉄板やフレームを敷いて荷重を分散させてください。

配線等パネル開閉時の注意

- パネルの取り外しを行った際には、ロック部材、フサギ板を元に戻してください。
- パネルの取り外しを行った際には、がたつき防止のためパネルを元の方向に戻してください。
- レイアウト変更、配線工事による加工やフロア部材の交換が必要な場合は、弊社営業担当者までご連絡ください。

清掃時の注意

- 日常作業としてタイルカーベットの、業務用大型掃除機または家庭用掃除機にて清掃してください。
- 定期作業としてパウダークリーニングを行ってください。
- パネルに水や薬品がかからないようにしてください。
- パウダークリーニングや染み抜きの方法は、清掃業者または表面材仕上げ材メーカーにお問い合わせください。

廃棄上の注意

- パネル、支持脚、副資材は一般産業廃棄物として、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき、適切な処理を行ってください。

お問合せは最寄りの営業拠点までお願いします。

建材事業本部

札幌営業所	TEL (011) 261-3506
仙台支店	TEL (022) 374-7141
東京営業部	TEL (03) 4413-1163
富山営業所	TEL (076) 424-2688
静岡支店	TEL (054) 283-7322
名古屋営業部	TEL (052) 611-9217
大阪営業部	TEL (06) 6252-1301
岡山支店	TEL (086) 424-8011
広島支店	TEL (082) 506-2202
九州営業部	TEL (092) 739-3636

本製品以外を扱う支店・営業所

北海道支店	TEL (0144) 38-7550
福島営業所	TEL (0246) 38-6173
日立営業所	TEL (0294) 22-4321
鹿島支店	TEL (0479) 46-1313
宇都宮営業所	TEL (028) 610-2820
前橋営業所	TEL (027) 224-3809
千葉支店	TEL (0436) 21-6341
横浜支店	TEL (045) 508-2531
神奈川支店	TEL (046) 262-5333
新潟営業所	TEL (025) 247-7710
若狭支店	TEL (0770) 24-2474
山梨営業所	TEL (055) 260-6780
浜松支店	TEL (053) 450-2200
豊田支店	TEL (0565) 28-0519
四日市支店	TEL (059) 347-6230
京滋支店	TEL (0749) 26-0618
堺営業所	TEL (072) 225-5801
神戸営業所	TEL (078) 381-6001
姫路支店	TEL (079) 289-3241
宇部営業所	TEL (0836) 21-0111
徳山支店	TEL (0834) 31-4411
四国営業所	TEL (0897) 34-6111
北九州営業所	TEL (093) 621-8820
長崎支店	TEL (095) 801-8722
大分営業所	TEL (097) 551-0237
熊本支店	TEL (096) 292-4035

本 社 〒104-8555 東京都中央区八丁堀1-6-1

・基幹産業事業本部	TEL (03) 4413-1121
・工業製品事業本部	TEL (03) 4413-1131
・高機能製品事業本部	TEL (03) 4413-1141
・自動車部品事業本部	TEL (03) 4413-1151
・建材事業本部	TEL (03) 4413-1161

研 究 所

・鶴見 ・浜松

工 場

・鶴見 ・王寺 ・羽島 ・袋井 ・結城

海外拠点

・インドネシア ・マレーシア ・シンガポール ・ベトナム
 ・タイ ・中国 ・インド ・チェコ ・メキシコ

⚠ カタログについてのご注意

本カタログを参照する場合、以下の点に注意してください。

- このカタログに記載の製品は、カタログに記載の用途をはじめとする一般的な用途での使用を意図しています。きわめて高度な品質・信頼性が要求され、本製品の不具合が直接人命に関わるような用途で使用される場合は、事前に必ず当社にご相談のうえ、お客様の責任で必要な対策を実施してください。
- 記載の物性値は、実際の使用環境や使用状況などにより変化しますので、あくまで目安としてご覧ください。
- 記載の内容は、製品単体での特性を表したものです。実際のご使用に際しては、必ず実条件での使用確認を行ったうえでご使用ください。
- 記載の内容は予告なく変更あるいは製造を中止することがあります。カタログの最新版を入手いただき内容をご確認ください。本カタログの発行時期は本頁に記載しております。当社ホームページのカタログダウンロードページにて最新版カタログの発行時期をご確認ください。なお、最新版ではないカタログの記載内容については保証致しかねますので、あらかじめご了承ください。
- 記載の規格、認定、法律などの条文は最新のものに準拠していない場合があります。
- 記載の情報について、複写、模倣、流用、転載などの著作権法によって保護されている権利を侵害する行為は固くお断りします。
- 記載の製品を使用したことにより、第三者の工業所有権に関わる問題が発生した場合、専ら当該製品

- に原因を有するもの以外につきましては、当社はその責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- 記載されている製品のうち、外国為替及び外国貿易法にて規制される貨物の輸出、技術の提供に際しては、同法に基づく輸出許可が必要です。
- 当社は、当社製品に係る以下の損害については、一切の責任を負いませんのでご注意ください。
 - ・天災地変・災害および当社の責に帰すべからざる事故により生じた損害
 - ・当社以外の第三者による当社製品の改造・修理・その他の行為により生じた損害
 - ・お客様およびご使用者様の故意・過失ならびに当社製品の誤使用・異常条件下での使用により生じた損害
 - ・当該製品の使用条件・使用環境・使用期間等の諸条件を考慮した定期的な点検と適切な保守・メンテナンス・交換を怠ったことにより生じた損害
 - ・当社製品の使用または使用不能に起因して生じた間接損害（営業上の損害、逸失利益および機会損失などを含みます）
 - ・当社製品の出荷時の技術水準では予見不可能な事態により生じた損害
 - ・その他当社の責に帰すべからざる事由により生じた損害